

2005年10月17日

国内最多、17作品の映画ライセンス権流動化をアレンジメント

株式会社パテント・ファイナンス・コンサルティング（以下 PFC、本社：東京都港区、代表取締役 日野 慎二）は、国内最多となる映画 17 作品のビデオグラム権流動化をアレンジメント致しました。本件は、株式会社アートポート（以下アートポート、本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 松下 順一）の映画作品におけるビデオグラム権を一括で流動化し、コンテンツファイナンスでは国内最大規模の約 8 億 5 千万円の資金調達となりました。アートポートは、ストラクチャード・ファイナンスの手法によって、東京三菱銀行、日本政策投資銀行等から特別目的会社（以下、SPC）経由で資金を調達いたしました。弊社は、本件のアレンジャーとして、ビデオ収益によるキャッシュフローの評価、スキーム構築等を行ない、中間法人及び SPC の設立を致しました。

これまでのコンテンツ流動化においては、対象作品が少数に限られており、特定の作品の収益が下振れた場合、その作品のリスクをまともに受ける可能性があります。本件は、流動化対象作品を多種多様としたコンテンツポートフォリオにより、リスクの分散化が図られた新しいスタイルの資金調達スキームとなっております。

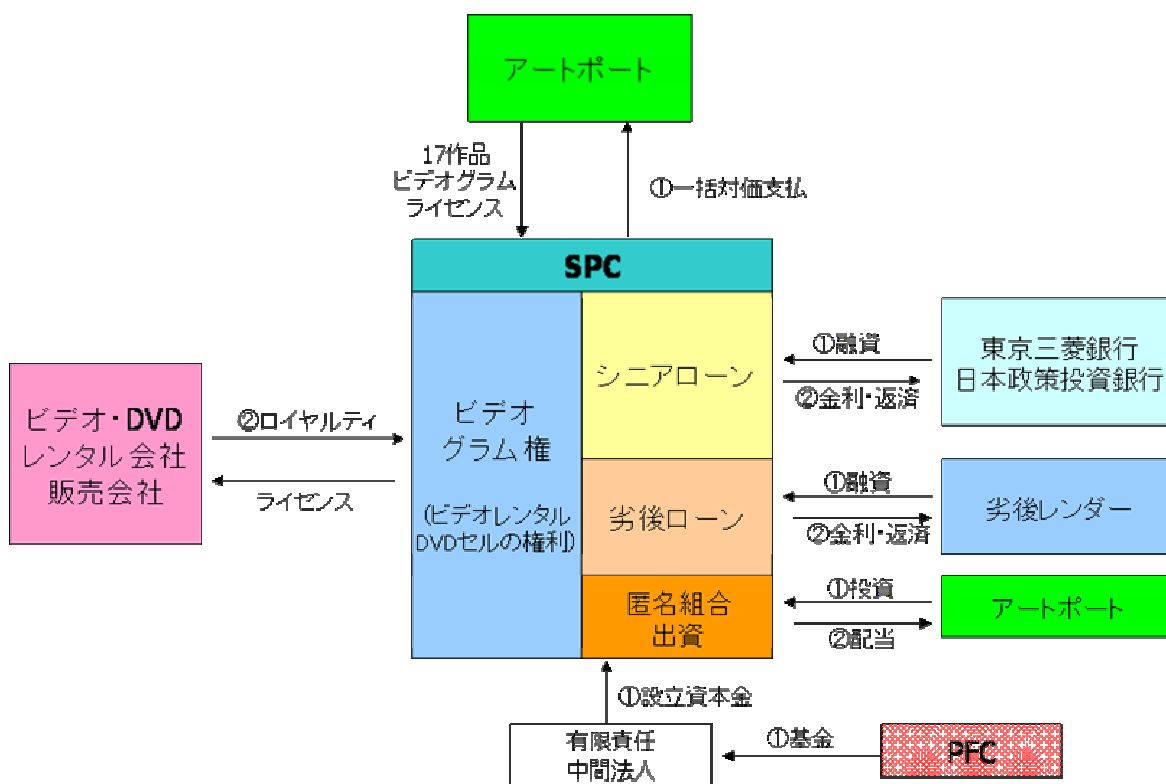
本件の流動化対象作品は、アートポートより 10 月 15 日公開の「ビューティフルボーイ」、12 月公開予定の「僕の恋、彼の秘密」、来春公開予定の「終極忍者」等の合計 17 作品です。海外からの買付作品及び自社製作作品で、アートポートが日本国内のビデオグラム権を保有していた作品です。

本件の資金調達において、アートポート等の投資家及び劣後レンダーから約 2 億 5 千万円の出資や融資を SPC が受けた後、シニアレンダーの東京三菱銀行及び政策投資銀行は協調融資で 6 億円の融資を SPC へ実行しました。同時に、アートポートは 17 作品のビデオグラムのライセンスを SPC へ許諾する一方で、SPC が調達した資金をライセンスの対価として一括で受取りました。将来、各作品のビデオ収益よりロイヤルティが SPC へ還元され、シニアローンや出資等

への元利金返済や配当の原資となります。

今後、弊社は、コンテンツや特許等の知的財産に基づく新しい資金調達への取り組みを積極的に進めて参ります。

【流動化スキーム図】



以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社パテント・ファイナンス・コンサルティング

Mail : info@ptfc.co.jp

電話 : 03-3746-1210